

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-50744 (P2003-50744A)
 【公開日】平成 15 年 2 月 21 日 (2003.2.21)
 【出願番号】特願 2002-208270 (P2002-208270)
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 6 F 12/14
 【F I】
 G 0 6 F 12/14 3 1 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 13 日 (2005.7.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】コンピュータシステム及びそのデータ書き込み方法

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

 a. 少なくとも 1 次及び 2 次パーティションと、
 b. 前記 1 次パーティションを書き込み禁止にする 1 次書き込みフィルタと、
 c. 少なくとも 3 つの状態を持つ状態機械と
 を含むコンピュータシステムであって、前記状態が、
 i. 前記コンピュータシステムが前記 1 次パーティションをブートし、前記 1 次書き込みフィルタが有効化され、そして前記 1 次パーティションへの永続データ書き込みの必要が生じた場合、これに呼応して前記状態機械が第二の状態へと進む第一の状態と、
 i i. 前記コンピュータシステムが前記 2 次パーティションをブートし、そして前記第二の状態にある間、前記状態機械が第三の状態へと進む前に前記 1 次書き込みフィルタが無効化される前記第二の状態と、
 i i i. 前記コンピュータシステムが前記 1 次パーティションをブートし、前記 1 次パーティションへと永続データが書き込まれる間は前記 1 次書き込みフィルタは当初無効化状態に置かれ、そして前記 1 次パーティションへの永続データの書き込みの終了後、前記状態機械が前記第一の状態へと入る前に前記 1 次書き込みフィルタが再有効化される前記第三の状態と
 を有することを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項 2】

更に、前記 2 次パーティションを書込み禁止にする 2 次書き込みフィルタを含み、
 a. 前記状態機械が第一の状態にある場合は前記 2 次書き込みフィルタは無効化され、
 b. 前記第二の状態にある場合は、
 i. 前記 2 次パーティションへと永続データが書き込まれている間は前記 2 次書き込みフィルタは当初無効化状態に置かれ、
 i i. 前記 2 次パーティションへの永続データ書き込みの終了後に前記 2 次書き込みフ

フィルタが再有効化されること
を特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 3】

前記状態機械の処理中、同じ前記永続データが前記 1 次及び 2 次パーティションの各々
へと書き込まれることを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 4】

前記状態機械が、前記 1 次書き込みフィルタの名前を変更することにより、前記 1 次書
き込みフィルタの無効化及び再有効化を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュ
ータシステム。

【請求項 5】

前記 1 次パーティションへと書き込まなければならない永続データを記憶しておくデー
タパーティションを更に含む請求項 1 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 6】

更にブートパーティションを含み、前記状態機械が、前記ブートパーティションに記憶
されたプログラムコードとして実現されたことを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュ
ータシステム。

【請求項 7】

コンピュータシステムの、通常は書き込み禁止となっている 1 次パーティションへと永
続データを書き込む為の方法であって、

a. 前記コンピュータシステムの前記 1 次パーティションにオペレーティングシステ
ムをインストールし、前記コンピュータシステムの 2 次パーティションにオペレーティン
グシステムをインストールするステップと、

b. 前記 1 次パーティションに記憶される書き込みフィルタを有効化し、前記 1 次パ
ーティションを書き込み禁止とするステップと、

c. 前記 1 次パーティションへと永続データを書き込む必要が生じた場合、前記 2 次
パーティションをブートし、前記 1 次書き込みフィルタを無効化し、前記 1 次パーティシ
ョンをブートし、前記 1 次パーティションへと永続データを書き込み、前記 1 次書き込み
フィルタを再有効化し、そして前記 1 次パーティションを再ブートするステップと
を含む方法。

【請求項 8】

前記 1 次書き込みフィルタの無効化及び再有効化が、前記 1 次書き込みフィルタの名前
の変更により実施されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 2 次パーティションがブートされた場合、前記 2 次パーティションへと永続デー
タを書き込むステップを更に含む請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

a. 前記 2 次パーティションがブートされる前に前記 2 次パーティションに記憶され
る 2 次書き込みフィルタを無効化するステップと、

b. 前記 2 次パーティションへと永続データが書き込まれた後に、前記 2 次書き込み
フィルタを再有効化するステップと
を更に含む請求項 9 に記載の方法。